

# 報おたる

- 急がれる幹線道路の整備に向けて…(2~3)
- 写真グラフ/明るく近代的な校舎…大幅に進む学校増改築…(4~5)
- 市議会第1回定例会から/新年度予算案などを審議…(6)
- スキー-国体小樽市実行委員会が発足…(6~7)
- 地元産業の振興をめざし/工業懇談会を開催…(7)
- 市長と語るつどい/勤労婦人センター料理教室に参加の皆さんと…(8)
- スポーツ少年団めぐり⑩/小樽バドミントンスポーツ少年団…(8)

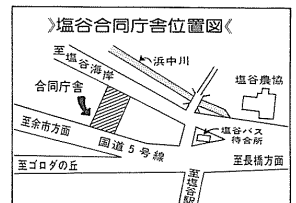
○  
とじて保存しておいてください  
いつかまた  
お役に立つことと思います  
○



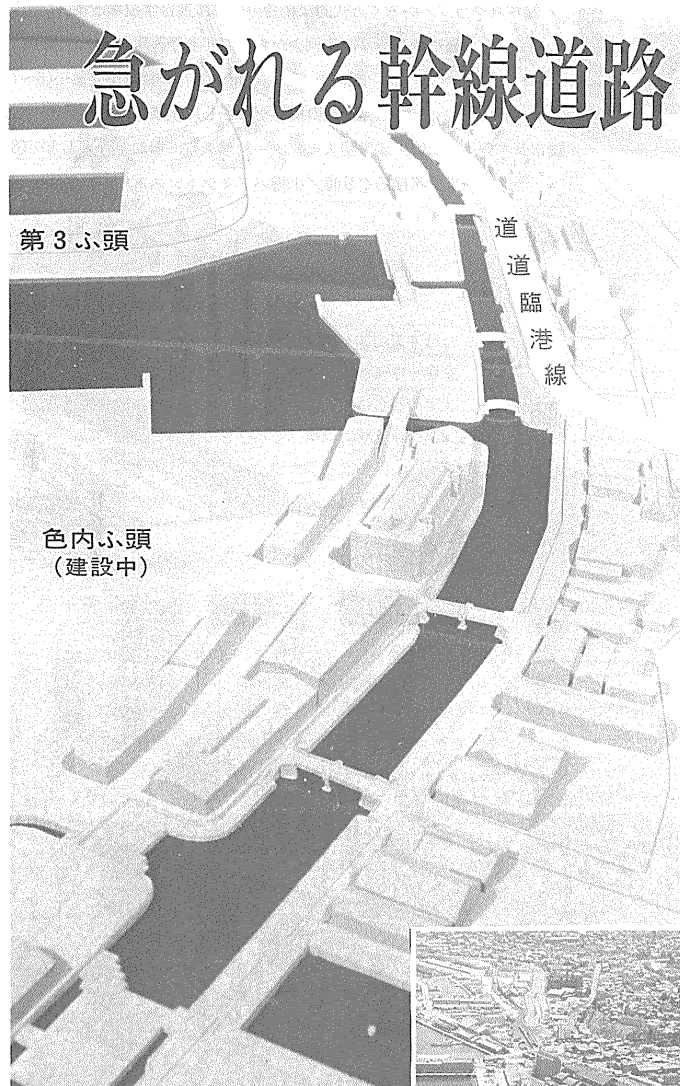
## 塩谷地区に新しく合同庁舎を建設

市役所の塩谷支所の建物は、昭和8年に建設（当時は塩谷村役場）したもので、隣り合っている消防署塩谷出張所も老朽化が激しくなってきましたので、両方を合わせて建て替え、市民の皆さんの便利を図ることにしました。工事は昨年9月からはじめ、総工費は9100万円となっています。

新庁舎の位置は下の図のとおりで、規模は鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ605平方メートル。1階が塩谷支所、国道沿いの2階部分が消防出張所で（写真）、1階には、集会場も設けており、市民の皆さんが、ご利用できるようになっています。庁舎は今月末に完成し、4月1日から業務を行う予定です。



# 急がれる幹線道路の整備に向けて



都市計画道路道道臨港線の建設は、国道5号線の拡幅とともに、市内の主要幹線道路として、その完成が急がれています。一方、長橋地区の交通渋滞解消のために、新しい国道建設の早期着工も強く望まれています。そこで今回は、道道臨港線建設にともなう運河公園構想の概要と、長橋地区新国道のルート決定など、市民生活に影響が大きい幹線道路の、整備へ向けての動きをご紹介します。

## 道道臨港線建設にともなう 運河公園構想



道道臨港線は、昭和41年に札幌バイパスと結ぶ。地点から工事を始め、いまは中央ふ頭の基盤まで完成しています。

これはオコバチ川河口付近まで延長約330mの工事を予定しています。一方、この道道臨港線のルートになっている運河の埋め立てについて、運河を守る会をはじめ、一部の学識者や文化人から「運河と周辺の倉庫群の保存と再利用を…」という運動がおきてきました。

このような中で、市ではかつての港湾荷役の施設として活躍した運河の一部を、道路交通の都市施設一さらには近代の港湾の輸送施設として再利用することで、おもに国道5号線だけに頼り渋滞している、市内の交通事情の緩和を図ってゆくことにしました。そして、市民生活の向上と、後志・小樽経済圏の発展に役立ててゆくとともに、運河と石造倉庫群の保存、再生の整備計画を策定することになりました。これが運河公園構想です。

### 道路を山側に寄せ 海側に水路を…

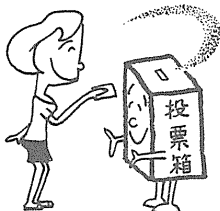
運河公園構想は、手宮側運河を軸として、周辺の石造倉庫群、臨港都市公園として整備を予定している色内ふ頭、さらに市立博物館、鉄道記念館などをふくめた臨港地区公園を造ることにより歴史的な景観と快適な環境を造り、市民の憩いの場として、また観光資源としても、市民はも



↑運河公園構想(中間報告)にもとづいてつくった模型 手前が手宮側運河450m部分

⇒小樽運河付近の現況(航空写真)

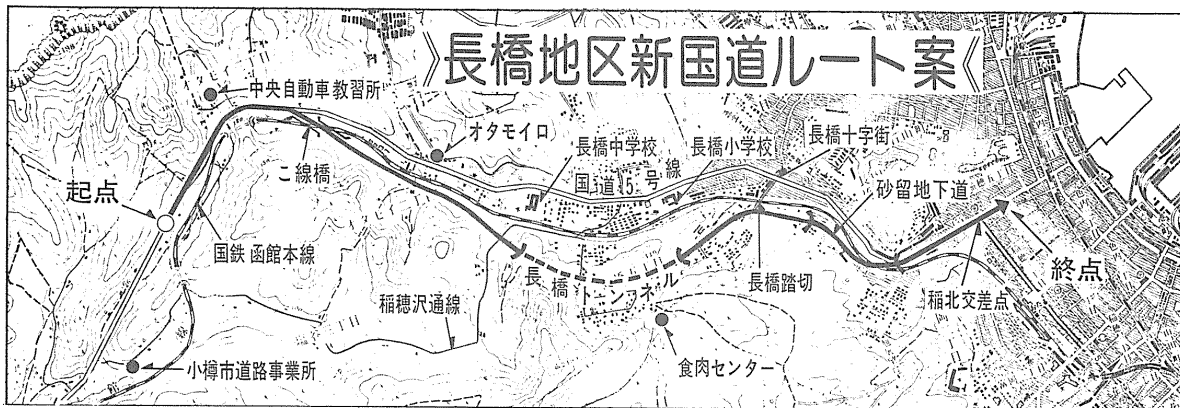
## 4月8日・22日は統一地方選挙の投票日です



統一地方選挙の投票日が決まり、知事・道議会議員選挙の投票日は4月8日、市長・市議会議員選挙の投票日は4月22日となりました。大切な一票をむだにすることなく、明るくきれいな選挙をしましょう。

■投票時間／午前7時～午後6時 ■不在者投票／知事＝3月14日～4月7日 道議＝3月27日～4月7日 市長・市議＝4月12日～4月21日 午前8時半～午後5時 小樽市選挙管理委

員会事務局 ■投票所の変更／第33投票所…桜小学校を東小樽会館に 第36投票所…豊足神社旧社務所を小樽市銭函市民センターに 第5投票所…塩谷支所は新しい庁舎に ■入場券の発行／投票所入場券は3月末頃までに皆さんへ郵送いたします ■立会演説会／知事の立会演説会＝4月4日(水)午後6時から市民会館 市長の立会演説会＝4月16日(月)午後6時から市総合体育館で行います



## はこのように

とより、広く道民にも愛され、親しまれる小樽港の一面を造りあげようというものです。

この構想のマスタープランの策定は、専門家に委託していましたが、その中間報告がこのほど出されました。その模型は前ページの写真でご紹介していますが、道路（道道臨港線）が運河にかかる部分と、手宮側運河の部分に分けて構想をのべており、まず道路がかかる部分については一、

①計画道路<臨港線>を片側(山側)に寄せ、海側に水路(運河)を残し、現在、絵画や写真愛好家に好まれている景観を保存し、この景観に親しめる散策路=プロムナードを設置する。

②車道(約23m)により、市街地とのつながりが断たれないよう十分配慮し、歩道と水路(運河)沿いの散策路に関連をもたせる。

③散策路にはベンチをおき、散歩や絵をかいたり、釣りができるようにし、ときには、露店や朝市などのオープンマーケットや催しもできるような空間として、情緒のある街路灯、つつじなどの並木、芝生などを整備する。

次に、手宮側運河地区を魅力あふれる場に

①小樽運河地区のもっている独特の姿を濃い密度で残し、人びとがこの地区のもつ魅力に接することができるよう、運河の岸に散策用のプロムナードを設ける。

②周辺の石造倉庫群の補修や改修のほか、家並みの調和を保ち、建物の移設や復元を図る。

③小樽市の歴史性、誇り、伝統などを表現する空間として、資料館や博物館を設置する。

④市民広場、シンボルタワーやレストハウスを設け、朝市など市民の日常生活に密着した活動の場をつくる。

⑤歩道網やサイクリングロード網を整備し、市民が気軽に訪れることができるようにする。一としています。

さらに構想では、この運河地区は、小樽はも

とより北海道の、また日本におけるユニークな野外の生きた歴史的な地区として、位置づけする必要があるとし、小樽市の躍動する生活の場であり、市民の活動の場でなければならないとのべています。そして、多くの人々に親しまれる魅力的な場として、気軽に利用できる空間でなければならない…と結んでいます。

以上の運河公園構想の実現には、今後解決してゆかなければならない多くの問題がありますが、市は実現に向けて最大の努力を払ってゆく方針です。

## 長橋地区の新国道は第2案で



市では長橋地区の国道5号線の交通渋滞を解消し、塩谷、オタモイなど郊外の市街化の促進と、後志圏との交通にも対応

できる道路交通体系として、同地区に新しい国道をどのように建設したらよいか、都市計画の面からいろいろ検討し、本紙の昨年11月号でご紹介した第1案、第2案の2つのルート案を示して、関係町会で説明会を行ってきました。

その後市では、説明会で出されたご意見、ご要望を総合的に検討した結果、上の図の第2案にしぼり、関係機関と協議を進める方針を決めました。この案は、長橋中学校裏の市道稲穂沢通線付近から、国鉄長橋踏切に近い道警アパート付近までを、延長約1キロのトンネルで抜けるルートです。

この案に方針を決めた理由は一、①長橋小学校裏付近で国鉄函館本線と立体交差し、現国道と連絡することが可能であり、市街地の道路網

を形成できること。②住宅地をトンネルで抜けるため、補償対象戸数が少ないこと。などの点を考慮したものです。

### ことし中に都市計画決定を目標として…

市は、これから関係町会の方は、より詳しく説明できるよう、1000分の1の図面での計画線の検討を行い、原案ができる夏ごろには、再度説明会を開くことを考えています。また、稲北地区の沿道対策として、商店街のあり方、振興策の調査も進めてゆきます。この懸案の事業に早期着工するためには、まずルートを都市計画決定することが前提となり、年内を目標として手続きを進める方針です。

以上、市内のふたつの幹線道路の整備に向けての動きをご紹介しましたが、この事業が一日も早く完成するよう市民の皆さんの、いっそうのご理解とご協力をお願いします。

## 融雪期の災害にご注意ください

これから融雪期にはいり、なだれやがけくずれ、河川の増水などによる災害が心配されます。次のことに気をつけ融雪による災害を防止しましょう。

- ガケ面には家庭から出る排水や雨水を流さない
- ガケの上にと土をもったり、ガケの下を切ったりしない
- ガケ面にある樹木で、風にゆられて地盤をそこなう恐れのある木は切る
- はんらんの原因になるゴミなどを川に捨てない
- なお、ガケに地割れができた・わき水がにこった・水が出てきた・石がバラバラと落ち始めた…というときはガケくずれの危険があります。すぐに土木部管理課 ☎4111 内線 342へご連絡ください。

